

# エネルギーのふるさと



# とまり



## 平成21年度とまり保育所生活発表会〈平成21年12月6日〉

2010  
平成22年

1月

No. 581

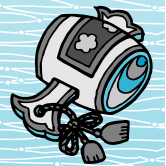
…… 今月の主な内容 ……………

- ◆ 年頭のご挨拶
- ◆ 2009年フォトフラッシュバック
- ◆ 村民アンケート結果
- ◆ 日本海ニコニコ元気村トピックス
- ◆ 暮らしの告知板

やさしく走ろう泊のみち



# 新年のご挨拶



泊村長  
牧野浩臣

新年明けましておめでとうござ  
います。

平成二十二年の新春を、皆様と  
ともにお迎えられましたこと大変  
嬉しく思います。

私は、お蔭様で平成二十年一月  
の村長選挙の当選以来、早いもの  
で村民皆様のご支援を頂き三年目  
を迎えることとなり、平素より村  
政にお寄せ頂いております深いご  
理解と温かいご支援に対し心から  
感謝を申し上げますと共に改めて  
その責任の重さを痛感しているこ  
ろであります。

今年、本村の「第三次総合計画」  
の最後の年にあたります。

重要案件の事業を取り進めながら  
村民皆様のあらゆるご意見やご要望  
を拝聴し、一貫して「任んでみたい。  
任んで良かった」と実感できる「希  
望に満ちた活力あるふるさとづく  
り」の実現に向けて、開かれた村政  
の推進に努めてまいりました。

今日の「安全で安心できる村づく

り」は、村民皆様はじめ村議会のご  
理解とご協力を頂いたお陰でありま  
す。  
心より感謝を申し上げる次第であ  
ります。

昨年は、元日からみぞれ混じりの  
温暖な日を迎え、一年を通し例年にな  
い雨量の多い年でありましたが岩  
宇地方は、自然災害等の特別な被害  
もなく穏やかな年でありました。反  
面、国外はじめ国内の経済社会は依  
然と厳しい景気回復の明るい兆しが  
見えない硬直した情勢が続いている  
中で、政治におきましては、自民党  
から民主党へと政権が代わり鳩山政  
権が九月十六日に発足したところで  
あります。「官僚主導から政治主導  
へ」というスローガンによりマニフ  
エストを掲げており、その意気込み  
により経済社会の好転を期待してい  
るところであります。

さて、本村としましては、財政健  
全化の中であらゆる職種に対して事

業の推進を図ってまいりましたが厳  
しいものがあります。

自治体におきましても然りであり  
ますが、本村の場合には、原子力発  
電所の立地村として電源立地地域対  
策交付金はじめ大規模固定資産税の  
大きな収入財源により村の台所の運  
営は、健全財政を堅持できる状況に  
なっております。これも偏に先人は  
じめ議会や地域住民のご努力の賜で  
あると敬意を表して心より感謝  
しているところであります。

国においては、平成十二年度から  
地方分権改革を執行し、地方自治体  
の独自での施策の中で「自己自立と  
体制づくり」を求めており本村にお  
きましてもその目標を掲げて村政を  
執行しているところであります。

このような状況の一つとして、一  
昨年から後志管内では、関係十六町  
村による後志広域連合を組織し、後  
志支庁内に事務所を設置、事務事業  
の合理化と簡素化を図った税業務は  
じめ、国保や介護保険事業等の円滑  
な事業運営を図っているところであ  
ります。

今日の福祉・医療・介護事業は特  
に医師不足が問題とされている中で  
診療所の医師の積極的な医療と介護  
体制の確立、医療機器の整備及び関

係機関や村保健師等の専門職員によ  
る住民の健康管理をより一層図って  
まいります。

水産業・商工業・観光業をはじめ  
建設業等につきましては、経済社会  
の低迷から本村においても厳しい状  
況にありますが、それぞれの立場で  
関係者が一丸となり今日の経済情勢  
を乗り越えて頂くことをご期待申し  
上げ本村としましても、できる限り  
推進してまいります。

泊原子力発電所につきましては昨  
年十二月二十二日に三号機が本格的  
な営業運転に入りましたことは北海  
道電力株式会社はじめ関係機関のご努力の  
賜であり立地村として、心より祝  
いを申し上げますと共に、これまで  
のご尽力に敬意と感謝を申し上げます  
次第であります。泊原子力発電所は、  
北海道の電力需要の四パーセント  
を占め、クリーンエネルギーとして  
重要視されております。

北海道電力株式会社には、常に「安全運  
転」を申しており、特に、世界的に  
甚大な地震災害が起きておりますの  
で住民の安全の確保が第一として、  
細心の注意を払い、些細なトラブル  
等であっても全てすみやかな情報提  
供等、万全な体制に期するよう北海

道電力(株)に対して今後におきましても強く要請してまいります。

地方行政の中では、特に「グローバル化」を目指した「光ファイバー」による地域情報化事業が、より一層重要視されております。緊急連絡網や福祉・医療・産業・教育等の情報や自然災害や原子力災害におきましても、いち早く情報通信ができるよう「村民が安全で安心の村づくり」を今後も進めてまいります。地域独自の個性に根ざした魅力のある「電子自治体形成」を、今後も目指してまいります。

年頭にあたって、村政の執行状況の一端をご紹介いたしました。泊村の現状は、重要案件が山積しております。

村民皆様のお知恵を拝借し、村議会のご協力を頂いて一つ一つ着実にそれらを実現させなければなりません。職員が一丸となり本村の繁栄と住民福祉の向上に、全力で取り組んでまいります。ご存でございますので、一層のお力添えをお願い申し上げます。

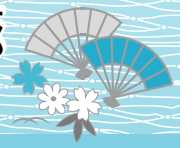
村民皆様のご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げます。新年のご挨拶と致します。



## 年頭あいさつ

泊村議会議長

北村 章二郎



新年あけましておめでとうございます。

平成二十二年の年頭にあたり村議会を代表致しまして謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

まもなく、村民の皆様方におかれましては、ご健勝で輝かしい新年をお迎えになられた事と、心からお慶び申し上げます。

日頃から私共の議会活動に対する暖かいご理解と絶大なるご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

おかげをもちまして、昨年も着実に本村発展の基礎を固めてまいりましたが、ここに新年を迎え、更なる躍進を期するものであります。

ご承知のとおり、今日の市町村を取り巻く環境は、地方分権改革の進展、合併による地域社会の再編、少子高齢化社会の到来や厳しさを増す財政状況等、大変厳しい状況におかれております。

国・地方の関係をめぐる一連の行政改革は、財政力の弱い小規模町村に、より深刻な影響を及ぼ

し、個性豊かな地域造りに支障をきたし、更には、地域間の格差が広がっているのが実状であります。この様な中であって、本村としても克服すべき多くの課題を抱えており、行政に対する期待は、その質・量とも益々複雑多様化している状況にあります。

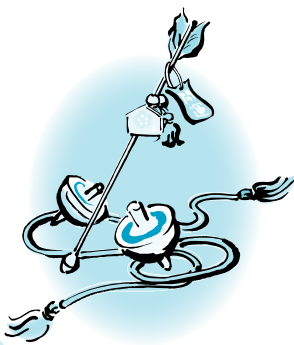
幸いにも、本村は原子力発電所関連の各種交付金や固定資産税等の収入により健全財政を堅持しながら、第三次総合計画に基づいて各種事業が着実に実施されてきております。更に今年度は学校給食共同調理所改築に着手し、合わせ特養老人ホームと保育所の改築等も計画されており、合わせて第四次総合計画の審議会が設立されて、基本構想と計画造りを進めている処であります。

この計画の実現によって、住民の生活環境が更に向上されて「泊村に住んで良かった・住んでみたい」と、村内外から言われている「安心・安全」な生活が出来る村

造りを着々と進めてまいります。更に昨年の衆議院選挙に於て長い歴史の政権から新政権に交代がなされ、以来国政が混乱しまだ見極めがつかない状況にあります。私共は大きな期待と関心をもって、しっかりと見定めて村政運営に取り組み決意であります。

そして私も議決機関と致しましては郷土泊村に「誇りと愛着の持てる村造り」の推進に向けて今後更に創意工夫を重ね、慎重審議に努め、泊村の更なる振興発展目指して努力を重ねて、村民皆様のご期待に応えるべく議員一同決意を新たにしておりますので、どうぞ本年も相変らぬご支援とご協力を賜ります様をお願い申し上げます。

最後になりますが、新しい年が村民の皆様にとりまして明るく幸多い良い年であります様に心からご祈念申し上げます。新年のご挨拶と致します。





北海道知事  
高橋はるみ

## 平成二十二年 知事年頭所感

新年明けましておめでとうございます。道民の皆様とともに新しい年を迎えることができましたことを、大変うれしく思っております。

私が再び道政を担わせていただいから、三度目の新春を迎えました。皆様には、平素から道政各般にわたり、深いご理解と温かいご支援を賜り、心から感謝を申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、国政では、八月の総選挙により政権が交代し、本道選出の鳩山総理の誕生、新内閣の発足という、大きな出来事がありました。

本道では、一昨年の北海道洞爺湖サミットに続いて「太平洋・島サミット」が開催されたほか、「ねんりんピック北海道・札幌2009」では、全国のシニアの方々が

スポーツや文化に技を競われ、地域と世代を越えた交流の輪が広がりました。道民の皆様にご協力をいただき、多くの方々を温かくお迎えできたことに、改めて感謝を申し上げます。

道政においては、世界同時不況の影響などによる厳しい経済情勢への対応が大きな課題になったほか、新型インフルエンザの流行や冷害等による農業被害の発生といった課題にも直面した一年でした。景気や雇用の回復に向けて、切れ目のない対策を講じるとともに、次々と生じた課題に、関係者の方々とともに懸命に対処するなか、道民の皆様のご暮らしを守るため、全力を傾けてまいりました。

景気後退の影響を受けた一年ではありましたが、一方で、全国で開催された北海道物産展の盛況や、道東地域を舞台にした中国映画の大ヒットと中国人観光客の増加など、食や観光をはじめ、北海道ブランドの国内外への着実な浸透がみられました。また、農商工連携や新エネルギーの導入の取組が各地に広がるなど、未来への展望を開く、力強い動きも数多くありました。

今、我が国は歴史的な転換期を迎えています。国政においては、政治主導や地域主権国家への転換を目指した大きな変化が生じ、また、国、地方を通じて持続可能な財政構造の確立は、待ったなしの状況になっていきます。一方、世界に目を向けると、中国やASEAN諸国など、経済成長を続けるアジア地域との結びつきの一層の強化や、地球規模での課題である低炭素型社会への転換が求められています。

こうした転換期は、新しい飛躍へのチャンスであり、今こそ、変化の風をとらえ、大胆な発想と果敢な行動で、北海道のもつ可能性を大きく開花させていくべき時であると思います。

そのためには、これまでの取組の成果を礎として、道民の皆様と手を携えながら、高い食料供給力や優れた自然環境などの「北海道価値」を一層高め、広げるとともに、地域の創意と主体性が存分に発揮され、地域が輝く地域主権型社会の実現に向け、大きく前へ踏み出していくことが必要です。

さらに、少子高齢化や過疎化など、全国の地域が抱える共通課題

の克服に向けて、北海道が先駆的な取組を進めることで、地域再生のモデルとしての役割を果たしていくことができると考えています。私としては、この一年を、本道の景気回復を本物にし、誰もが安心して生き生きと暮らせる社会づくりを進め、創造と挑戦の精神で北海道を新たな発展の軌道へ乗せる確かな歩みの年にするため、全力を尽くしてまいります。

新しい年が、皆様にとりまして、希望あふれる年になりますよう、心からお祈り申し上げます、新年のごあいさつとさせていただきます。





北海道後志支庁長  
谷本 辰美

## 平成二十二年 年頭あいさつ

新年あけましておめでとうございます。私にとりまして初めての後志支庁での新春を皆様とともに迎えることができますことを心から嬉しく思っております。

また、日頃から後志支庁の取組にご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、昨年を振り返ってみますと、春先には好天に恵まれたものの、7月以降は、全道的に低温、日照不足、記録的な長雨など天候が不順な一年でありました。

このような中、農業については、後志管内は他地域に比べ天候不順による影響が少なかったものの、水稲や大根、豆類など一部の作物が平年を下回る収穫量となりましたが、後志の特色である果樹については、台風上陸の被害もなく、ひと安心したところです。

また、水産業では、ニシンの漁獲が非常に好調で2年連続の豊漁となったほか、一昨年に不振で心配されていたサケも予想に反して前年を上回ったものの、主要魚種であるホッケが漁獲量・金額ともに不振であり、魚種全体の総漁獲高としては低迷する状態となりました。

さらに、全国的に異常発生となった大型クラゲが管内にも大量に来遊し、秋サケ定置網漁業などの操業に大きな影響を与えるなど漁業者を悩ませており、効率的な駆除方策の確立が求められています。

次に、観光についてですが、世界的な経済不況や円高が影響し、ニセコエリアでの豪州資本による建築ラッシュに一服感がみられるなか、花園地区などでは香港資本による大型リゾート開発が表明されており、今後は香港を中心にアジア圏からの観光客の伸びが期待されています。国内の観光客については、これまで海外でロングステイを楽しんでいた首都圏の熟年層が、ニセコの豪州仕様のコンドミニアムで夏に長期滞在する動きがみられます。これからも、後志の「食」と「観光」を世界に通用

するブランドに育て上げ、地域の素晴らしさや価値を一層高めて、国内外に発信する必要があると考えております。

一方で、管内ではこの魅力あふれる後志へ多くの方々に訪れていただくため、また、地域の皆様が安全・安心に暮らせるための生活基盤としても、北海道新幹線や高規格幹線道路など、地域をつなぐ高速交通ネットワークの整備が強く望まれています。

現在、世界同時不況による景気低迷、円高やデフレにより、管内の経済活動や生活への影響も懸念されますが、後志支庁としては、管内の将来を見据えて、地域経済の活性化はもとより、安全で安心して暮らせる地域づくりをしっかりと進めてまいりますので、皆様の一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

皆様にとりまして、新しい年が希望に満ちたすばらしい一年になることを心からお祈り申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。





## 役 場

村 長 牧野 浩臣  
副村長(総務部長事務取扱) 田村 義人

会計管理者兼出納課長 水野 雅敏  
経済部長兼もいわ荘支配人 結城 博

総務課長 赤平 晃  
企画振興課長 西宮 勝彦  
財政課長 沼畑 智

建設水道課長 佐藤 茂樹  
産業課長 飯田 有二  
住民福祉課長 加藤 哲朗

保健センター長 長尾 透  
むつみ荘荘長 中畑 英司  
とまり保育所所長 福森 武二

ほか職員一同

## 議 会

議長 北村章二郎  
副議長 宇留間文宣  
議員 小林 常次  
加藤 晴雄  
三浦 弘文  
結城 智  
吉田 茂樹

## 教育委員会

事務局長 川村 光夫  
委員長 國分 克之  
委員長職務代理者 小林 勝行  
委員 大橋 芳之  
寺井 義則  
山本 昇  
木村 充夫

教育長 次 長  
ほかに職員一同

## 監査委員

能井 勝治  
結城 智

## 表彰審議会

委員 北村章二郎  
安藤 徳久  
國分 克之  
寺井 喜正  
佐藤 友一  
福森 洋子  
近江 禮子  
小林 洋二

## 特別職報酬等審議会

会長 宮谷 秀吉  
会長職務代理者 二瓶 幸雄  
小林 勇  
能井 勝治  
小林 洋二

榎垣 馨

## 住みよい村づくり推進協議会

宇留間文宣  
藤巻みや子  
安藤 徳久  
丹羽 隆  
福森 洋子  
妹川 一教  
妹川 達也  
赤坂 弘子  
能井 勝治  
小塚喜見枝  
二瓶 幸雄  
大橋 敦子  
宮谷 秀吉  
吉田 茂樹  
酒本 征史  
茂野 智和  
國分 克之

## 泊村情報公開審査会委員

会長 北村章二郎  
副会長 二瓶 幸雄

## 固定資産評価審査委員

吉田 茂樹  
工藤 澄子  
寶喜 敢秀

## 選挙管理委員会

委員長 佐藤 友一  
委員長職務代理者 三浦 至  
委員 小林 勇悦  
福森 洋子

## 交通安全指導委員

部長 丹羽 隆  
副部長 佐藤 友一  
指導員 宮谷 悟  
小林 信雄  
深津 衆蔵  
背戸 昭夫  
田原 淳  
田中 實  
立花東寿彦

## 国民宿舎運営委員会

委員長 宮谷 秀吉  
委員 小林 常次  
吉田 茂樹  
三島 静雄  
榎 英樹

**岩内・寿都地方  
消防組合泊消防団**

団 長 北村章二郎  
副 団 長 丹羽 隆  
” 澤田 正徳  
ほか団員一同

**岩内・寿都地方消防  
組合消防署泊支署**

泊支署長 菊池 文秀  
副支署長 小林 範夫  
” 赤坂 昭美  
ほか職員一同

**人権擁護委員**

小林 常次  
二瓶 幸雄

**有線放送番組審議会**

委 員  
妹川 一教  
吉田 茂樹  
出口 雅昭  
藤巻みや子  
福森 洋子  
對馬英登志  
小塚 哲弘  
二瓶 幸雄

**有線放送施設運営委員会**

委 員  
北村章二郎  
池守 力

**社会教育委員**

安藤 徳久  
小林 常次  
國分 克之  
酒本 征史  
近江 裕利

委員長 深津 象蔵  
副委員長 能井 勝治  
委員 北村章二郎  
宇留間文宣  
佐長 得幸  
福森 洋子  
梅庭 英良  
高橋 巖一  
浜本 哲栄  
妹川 達也  
小塚喜見枝  
藤巻みや子  
出口 雅昭

**泊村公民館運営審議会**

委 員  
北村章二郎  
佐長 得幸  
深津 象蔵  
能井 勝治  
梅庭 英良  
出口 雅昭  
福森 洋子  
藤巻みや子

**青少年問題協議会**

委員長 伊勢 秀勝  
副委員長 廣川登美枝

委員長 牧野 浩臣  
山本 昇  
北村章二郎  
宇留間文宣  
深津 象蔵  
能井 勝治  
武田 哲也  
鈴木 隆  
佐長 得幸  
出口 雅昭  
福森 洋子  
加藤 哲朗

**泊村学校給食  
共同調理所運営委員**

委員長 武田 哲也  
副委員長 出口 雅昭  
委員 香澤 力  
伊名野巖夫  
大平 晃章  
宮下 常美  
本間 芳男  
佐長 得幸

**泊村文化財保護委員**

委員長 浜本 哲栄  
委員 梅庭 英良  
工藤 卓也

**民生児童委員**

委員長 伊勢 秀勝  
副委員長 廣川登美枝

委員 渡辺 富雄  
高橋 美智  
高橋 義忠  
大橋 敦子  
工藤 澄子  
福森 洋子  
高橋 巖一  
妹川 一教  
小林 勇悦  
菊地 和子  
藤巻みや子  
赤坂 規子

**公営住宅入居者  
選考委員会**

委員 北村章二郎  
小林 常次  
二瓶 幸雄  
高橋 巖一  
妹川 一教  
廣川登美枝

**泊村障害程度区分  
認定審査会**

委員長 小松 正伸  
職務代理者 秋島 光雄  
委員 山地 光宏  
山田奈央子  
土野美和子



# 2009年 昨年はこんなことがありました フォトフラッシュバック



**1月12日～31日**  
各地域会新年交礼会  
(各地区集会所)



**1月11日**  
泊村成人式  
(泊村公民館)



**1月7日**  
泊消防団出初式  
(泊村公民館)



**4月3日**  
とまり保育所入所式  
(とまり保育所)



**2月28日～3月1日**  
第10回泊村長杯選抜少年アイスホッケー  
大会(泊村アイスセンター)



**2月10日**  
平成20年度北海道原子力防災訓練



**4月28日**  
泊村寿大学開講式  
(泊村公民館)



**4月10日**  
交通安全車両パレード  
(とまりん館前～茂岩)



**4月6日**  
泊小学校入学式  
(泊小学校)



**6月15日**  
泊小学校大運動会  
(泊小学校)



**5月27日**  
泊村寿大学修学旅行  
(黒松内町・蘭越町)



**5月14日～15日**  
ニシン稚魚放流  
(堀株海岸)





**6月29日**  
第1回泊村総合計画審議会  
(泊村役場)



**6月25日**  
ふれあいパークゴルフ大会  
(とまりカブトラインパーク)



**6月20日~7月10日**  
各地域神社祭



**7月30日**  
愛媛県伊方町子ども親善大使来村



**7月30日**  
「にしん街道」標柱除幕式  
(鯨御殿とまり前広場)



**7月18日**  
第38回群来まつり  
(盃海水浴場)



**9月18日**  
泊村敬老会  
(泊村公民館)



**9月13日**  
HOKKAIDOとまりマラソン2009  
(とまりん館周辺)



**8月21日**  
泊村戦没者追悼式  
(泊村公民館)



**10月29日**  
平成21年度北海道原子力防災訓練



**10月15日**  
泊村商工会創立30周年記念式典  
(泊村公民館)



**10月10日~11日**  
第5回泊村長村長ぐつアイスホッケー大会  
(泊村アイスセンター)



**12月19日**  
親子・少年少女カルチャー教室  
「しめ縄づくり」(泊村公民館)



**11月3日**  
第44回泊村功労者表彰式  
(泊村公民館)



**10月31日**  
泊中学校文化祭  
(泊中学校)

第4次泊村総合計画策定にあたり、平成21年8月に泊村の20歳以上の村民を対象にアンケートを実施しました。

また、次代を担う高校3年生と中学3年生にも村づくりのアンケートを実施しました。

ここでは、主なアンケート結果をダイジェストでお知らせします。

## 実施概要

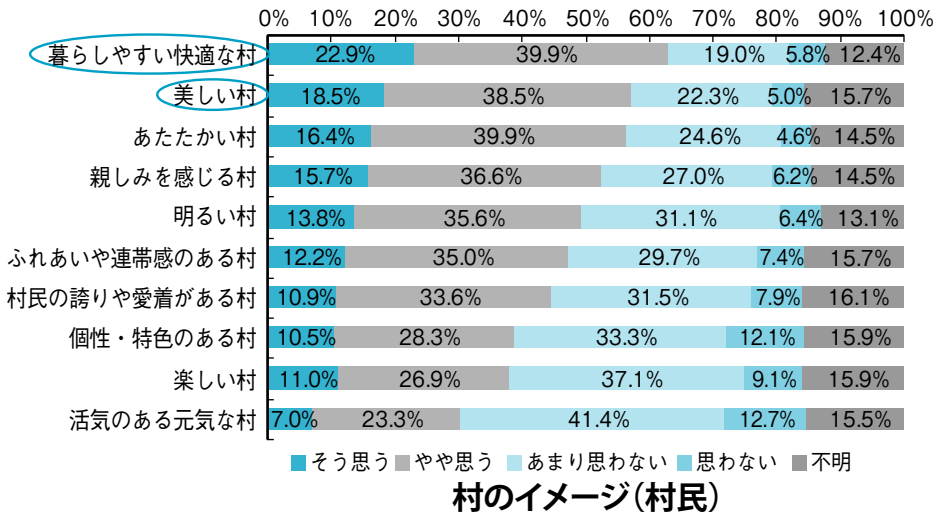
	村民	高校生	中学生
配布数	1,535	17	25
回収数	1,217	14	24
回収率	79.3%	82.4%	96.0%

約80%と高い回収率となっています。

## 泊村は、「暮らしやすい快適な村」「美しい村」のイメージが高い！

泊村のイメージについては、「暮らしやすい快適な村」に対して、そう思う・やや思うと回答した村民が最も高く(約63%)、次いで「美しい村」(約54%)と多くあげられています。

また、高校生でも「暮らしやすい快適な村」(約86%)が最も多く、中学生では「あたたかい村」(約79%)が多くあげられています。

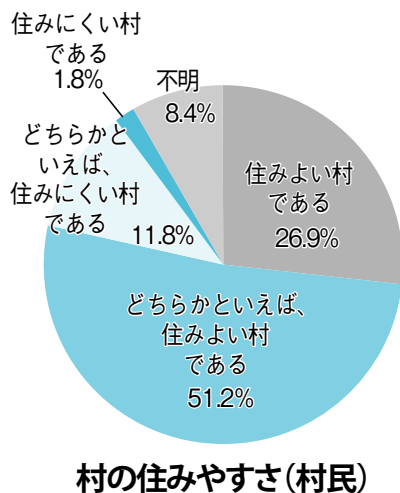


## 泊村は、自然環境が良く、医療や福祉が充実した住みよい村です！

泊村の住み心地に対して、住みよい・どちらかといえば住みよい、と感じている村民が全体の約8割(約78%)となっており、多くの村民が住みよい村だと感じています。

また、高校生では約8割(約79%)、中学生では約7割(約71%)と年代を問わず泊村が住みよい村と感じています。

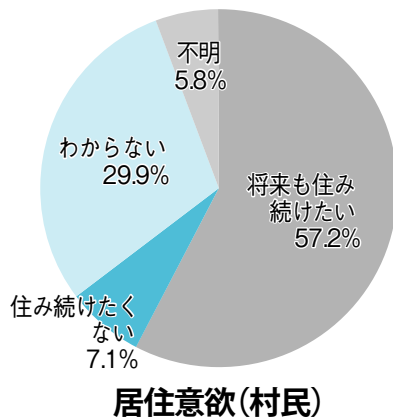
住み心地が良い理由としては、自然環境の良さや、医療や福祉施設が充実していることがあげられています。



## 泊村に「住み続けたい」が57.2%！

将来も泊村に「住み続けたい」という村民は、全体の約6割と高く、村への愛着の深さが読み取れます。

また、泊村に住み続けたい高校生は約2割(約21%)、中学生は約1割(約4%)と全体に比べ低い割合となっています。



## 老後生活への不安あり！

老後の生活については、自分の健康や、介護の問題に対して不安であると感じている村民がそれぞれ約5割と、多くの村民が老後に対して不安を持っていることがわかります。

## 高齢者福祉に関しては、老人ホームなどの施設の充実が優先すべき取り組みです

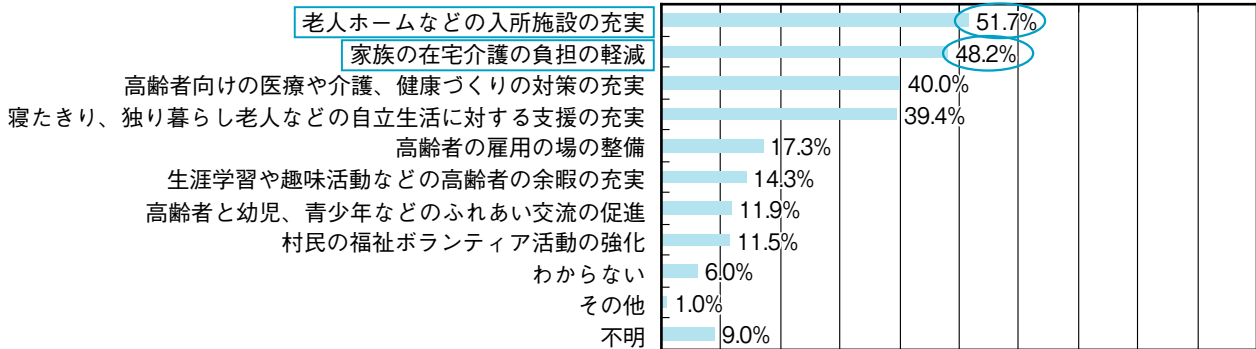
高齢者福祉などに関しては、老人ホームなどの入所施設の充実（約52%）、家族の在宅介護の負担を軽減してほしい（約48%）と回答している村民がそれぞれ約5割と多くあげられています。

今後は入所施設を充実させるなど、家族の負担をできるだけ軽減させていくことが重要となります。

また、高校生では老人ホームなどの充実とともに、趣味活動などの老後の余暇の充実についてもそれぞれ約5割と多くあげられています。



0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



高齢者福祉などの取り組み(村民)

## 今後の村づくりの優先すべき取り組みは、雇用創出と高齢者福祉、保健・医療の充実です。

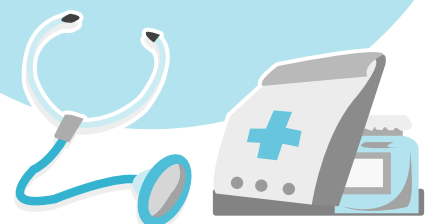
今後、村づくりを進めるにあたって優先すべき取り組みについては、村内への雇用場の確保（約38%）や、高齢者福祉や障害者福祉の推進（約36%）について多くの村民があげています。その他、保健・医療機関の充実や公営住宅の整備をあげている村民が多くなっています。雇用場の確保については、満足度が低く、重要な課題であると言えます。

また、高校生と中学生からは、バスなどの公共交通機関を充実してほしいと回答している人が多くいます。（高校生：約77%、中学生：約65%）



## 元気に安心して暮らすためには、医療機関と医療サービスの充実が必要。

元気に安心して暮らせるためには、医療機関と医療サービスを充実させる、休日や夜間などの救急医療体制を充実させることが村民から多くあげられ、村の医療環境に対して不安をもっていることがわかります。



## 交流・観光振興は、地域の水産物の活用、観光客の受け入れ体制づくりが必要。

観光や交流振興の取り組みについては、地域の水産物を使った特色ある料理や商品の開発（約41%）、盃温泉の整備（約39%）、村の資源を活用した魅力づくり（約37%）などが村民から多くあげられています。

また、高校生ではイベントやお祭りの充実（約71%）が多くあげられています。

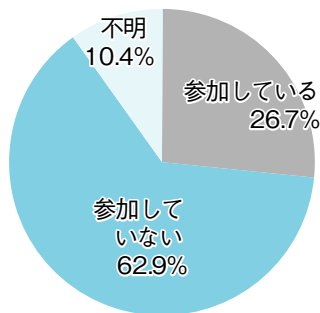
今後は、満足度が低い観光客との交流の充実を目指して、地域の水産物を活かした地域ブランドづくりや、宿泊施設整備やイベント充実などの観光客受け入れ体制づくりを進めていくことが求められています。

## 地域産業は水産物の活用、人材育成が大切！

地域産業の振興に対する村民の優先度は高く、そのために水産物を活用した水産加工業を推進していくこと（約36%）、水産業を推進してほしい（約28%）と回答している村民が多くいました。

また、水産業の取り組みについては、漁業者の後継者を確保することや、育成していくことが重要であると、多くの村民が回答しています。

## 村づくり活動へ「参加している」村民は約3割！



村づくり活動への参加については、「参加している」村民が約3割（約27%）と低い割合となっており、高校生・中学生においても同様の傾向になっています。

村民が参加している村づくり活動の内容は、清掃・美化活動、安心・安全活動など、比較的参加しやすい活動が多くあげられています。

村づくり活動への参加の機会の満足度が低いことを踏まえると、今後は参加の機会を充実させると共に、その他の活動に対しても、参加しやすい環境づくりを進めていくことが求められています。

村づくり活動への参加(村民)

## 子育てで優先すべき取り組みは、保育所や公園などの環境整備の充実です。

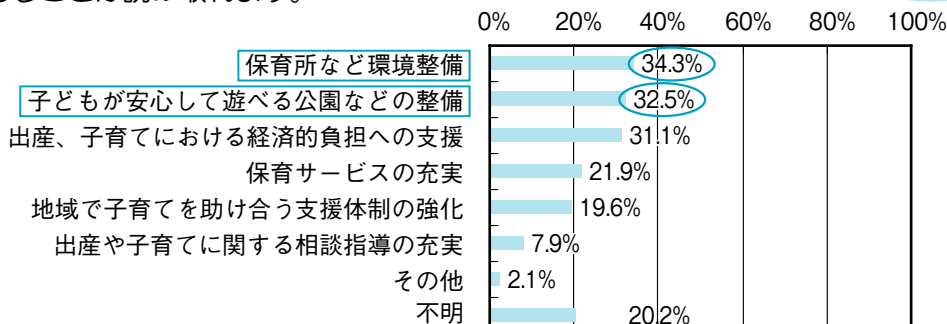
子育てなどの取り組みについては、保育所などの環境整備をしてほしい（約34%）、子どもが安心して遊べる公園などを整備してほしい（約33%）と回答している村民が約3割と多くあげられています。

今後は子どもたちが育つ環境づくりを進めていくことが大切になります。

また、高校生では出産や子育てにおける経済的負担への支援をしてほしい（約64%）が約6割と特に多くの人からあげられており、将来への経済的な不安があることが読み取れます。

## 子どもが文化に触れる機会を増やしたい。

子どもの教育や文化振興については、子どもが文化に触れる機会を充実させてほしい、文化施設やスポーツ施設を整備してほしいと回答している村民が多くいます。

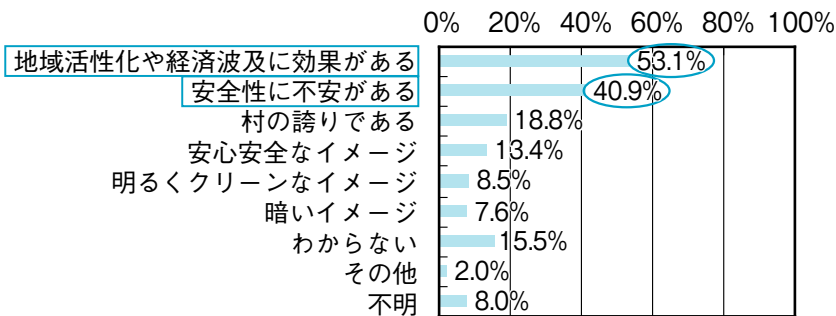


子育てなどの取り組み(村民)

## 原子力発電は、地域活性化に重要であります、安全性に不安がある村民も多い。

原子力発電のイメージについては、地域活性化や経済波及効果に効果があると感じている村民が全体の約5割（約53%）と多くあげられていますが、その反面、安全性に不安がある村民も約4割（約41%）と多くあげられています。

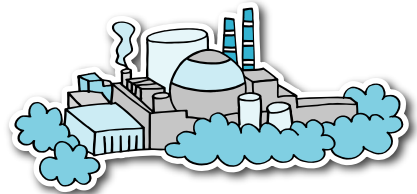
また、高校生では、村の誇りと感じている人が約5割と多くあげられ、中学生では安全性に不安があると感じている人が約5割と多くあげられています。



原子力発電のイメージ(村民)

## 今後は安全管理、安全対策が課題！

今後重要であると考えられる取り組みについては、安全管理や安全対策、防災対策を強化することが約7割（約68%）と、特に多くあげられており、原子力発電は地域の活性化には必要だが、安全面への対策を充実させていくことが今後の課題としてあげられています。



## 行政運営は、村民にわかりやすく、効率的な組織・機構づくりを進めていくことが今後の課題です。

村政改革を進めていく上での取り組みについて、村民にわかりやすい効率的な組織・機構づくりを進めることが約4割（約44%）と多くの村民にあげられています。その他、村職員の資質・能力の向上、人材育成や、申請・届出など手続きの簡素化が高い割合となっています。

また、高校生では補助金・助成金等の見直しについて、約5割（約50%）と多くあげられています。

## 商工業の活性化は、地元商店街を積極的に利用していくこと。

商工業活性化の取り組みについては、地元商店街の積極的な利用、既存の商店街の活性化が村民から多くあげられています。

## 環境問題は、ごみ減量、リサイクルを推進していくこと。

環境問題の取り組みについては、ゴミの減量やリサイクルの推進、植樹や植林によるカーボンオフセット\*の推進、ごみ分別の強化などが多くあげられています。

※カーボンオフセット：日常生活や経済活動によって排出される二酸化炭素を、何か別の手段を用いて相殺しようという考え方。クリーンエネルギーの開発、森林保護、植林といった事業に投資するなどの方法がある。

## 若者の定住促進は「必要である」約8割！

若者の定住促進が必要であると感じている村民は、全体の約8割（約78%）で多くあげられています。

また、定住促進に向けた取り組みについては、村内の雇用の創出や公営住宅の建設などが多くあげられています。

## お問い合わせ

泊村役場 総務部企画振興課 TEL：0135-75-2877 FAX：0135-75-3168

12/4

## 中学生人権作文コンテスト 札幌地方大会俱知安地区大会 吉田 琴子さん入選

中学生人権作文コンテストにおいて、泊中学校1年生吉田 琴子さんが「人権について」と題した作文で入選されました。

吉田さんには、校長室で泊村人権擁護委員の小林常次さん、二瓶幸雄さんから賞状の伝達が行われました。

このコンテストは人権尊重の重要性、必要性について理解を深め、豊かな人権感覚を身につけることを目的として、毎年開催されています。

入選おめでとうございます。



12/4

## 平成21年度 泊村納税会議

国民宿舎もいわ荘で、泊村納税会議が開催されました。総会では組合退任役員のお二人に対し表彰が行われた後、牧野村長が「皆様の努力で集めていただいた村税を、大切に活用していかねばならないと思っています。今後ご協力をお願いします。」と挨拶、またその後、財政課長、住民福祉課長補佐より村税や、国民健康保険税などについての説明がなされました。

### 【納税功労者表彰】

三好 義雄さん  
小塚 仁吾さん



日本海  
ニコニコ

## 元気村 トピックス

11/25

## 奥村幸治さん 泊村教育講演会

泊村公民館で、皆さんもよくご存知の、シアトルマリナーズのイチロー選手のバッティングピッチャーも努めた奥村幸治さんの教育講演会が、泊村PTA連合会の皆さんをはじめ、多くの方が参加され開催されました。「目標設定のセルフマネジメント」と題し、お話をされました。

イチロー選手の目標設定の考え方、調子が悪いときには運動のし過ぎによる疲労をおそれ、全く練習をしないこともあったなど、わかりやすい解説に参加者はうなずきながら熱心に聴いていました。



11/26

11/30

## 村政懇談会開催

村政懇談会が11月26日から、泊地域を皮切りに村内5地域の各地区集会所で開催されました。

牧野村長、副村長、教育長、議長、部長、各課長が直接、皆さんにお会いし、住民の方々と村が互いの意見を交換しました。今後、皆さまからいただいたご意見やご要望は参考にさせていただき、村行政に反映させていきたいと考えておりますので、今後ともご理解とご協力をお願い申し上げます。参加された皆さま方大変ありがとうございました。



12/6

## とまり保育所生活発表会

毎年恒例の生活発表会が行われ、園児たちは歌や遊戯など日頃の練習の成果を披露しました。中には目の前の保護者に緊張して、かたまってしまう園児も。

一生懸命頑張る園児に、会場からは温かい拍手が贈られていました。



12/12

## 第21回泊村民(会長杯)卓球選手権大会

泊村卓球協会が主催する、第21回泊村民(会長杯)卓球選手権大会が、堀株地区集会所体育館で開催されました。

小学生から中学生まで17名が参加して行われ、各部門とも熱戦が繰り広げられました。

優勝者は次のとおりです。

男子 シングルス	小学生の部	優勝	長尾 将史君	4年生
	中学生の部	優勝	高橋 良輔君	2年生
女子 シングルス	小学生の部	優勝	高橋 麻友さん	4年生
	中学生の部	優勝	増川 加純さん	2年生



# 泊 発 電 所 の 状 況

- 泊発電所1号機(定格電気出力57万9千キロワット)  
・定格熱出力一定で運転中
- 泊発電所2号機(定格電気出力57万9千キロワット)  
・定格熱出力一定で運転中
- 泊発電所3号機(定格電気出力91万2千キロワット)  
・経済産業省原子力安全・保安院による最終検査を終え、  
12月22日から営業運転に入りました。



## エネルギー座談会2009 <sup>12/2</sup>

役場会議室で、住民の方々9名が参加した、経済産業省資源エネルギー庁主催による、エネルギー座談会2009が開催されました。

この座談会では、国の担当者からエネルギーと原子力政策等について説明を受けた後、「私たちの暮らしと原子力発電」をテーマに原子力やエネルギーについて知りたいことや日頃から考えていること、疑問に思っていることなどについて、活発な意見交換が行われました。



## 国民健康保険税の納入について(お願い)

平成21年4月1日から、国民健康保険の運営主体が泊村から後志広域連合に変わりました。村では加入者の皆様から集めた保険税を広域連合に納めることになっていますが、納期限を守らない一部の加入者がいるため、負担金の納入に支障がでております。

つきましては、国保税は決められた期限までに必ず納めましょう。

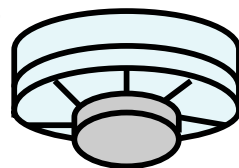
なお、今年度すでに後志広域連合の徴収員により、滞納者で預金を差し押さえられた方がおります。近々、滞納されている方のお宅には徴収員が訪問し、悪質な滞納者は保険証の没収、預金や給料・財産の差し押さえといった処分を受けることになります。

預金や財産を差し押さえられると、一気に生活が困窮したり、自営業の方は営業活動もできなくなります。

国保に関する不明な点がありましたら、役場住民福祉課保険係(TEL 75-2132)までご連絡ください。

## 泊村では住宅用火災警報器設置の助成をしております。

- 設置する場所は、寝室又は寝室が2階にある場合は寝室と階段になります。
- 補助は、設置にかかる費用又は、10,000円のいずれか少ない額です。
- 警報器は、村内業者で購入したものに限りです。  
※村・公営住宅等は、村が設置しますので除きます。



村の助成金の申請期限は平成22年3月31日までです。

火災警報器に関する助成制度のお問い合わせ先 泊村役場企画振興課 TEL 75-2877



## 移転のお知らせ

小樽労働基準監督署倶知安支署・岩内公共職業安定所  
倶知安分室（ハローワーク倶知安）は、次のとおり移転  
いたします。

### 小樽労働基準監督署倶知安支署

移転の日 平成22年1月18日(月)から  
新郵便番号 044-0011  
新住所 虻田郡倶知安町南一条東3丁目1番地  
倶知安地方合同庁舎 4階  
電話 0136-22-0206  
FAX 0136-22-2373 (変更ありません)

### 岩内公共職業安定所倶知安分室（ハローワーク倶知安）

移転の日 平成22年2月22日(月)から  
新郵便番号 044-0011  
新住所 虻田郡倶知安町南一条東3丁目1番地  
倶知安地方合同庁舎 1階  
電話 0136-22-0248  
FAX 0136-22-4303 (変更ありません)



## 受講生を募集します

### パソコン教室

- ・日程 2月3日～2月26日 毎週水・金曜日
  - ・受講料 両講座とも【12,000円】
  - ・定員人数 10名（先着順）
- 【エクセル講座 使用OS:ピスタ】 14:00～16:00  
【表計算試験対策講座 使用OS:XP】 18:30～20:30

### 認定職業訓練

#### 土木施工科①「最新電子納品事情と情報共有」

- ・訓練期間 平成22年2月25日(木)、26日(金)
- ・訓練時間 9:00～16:00 (昼休み1時間)
- ・定員 12名 (先着順)
- ・受講料 18,000円

#### 土木施工科②「CALS/ECアクションプログラムと建設ICT」

- ・訓練期間 平成22年3月18日(木)、19日(金)
- ・訓練時間 9:00～16:00 (昼休み1時間)
- ・定員 12名 (先着順)
- ・受講料 18,000円

### 問い合わせ

- ・岩内地域人材開発センター  
岩内町字東山8-16 TEL 0135-62-2183

## くらしの告知板

役場 ☎75～2021

## 除雪に関するご理解と ご協力について



公営住宅に入居されている皆様におかれましては、毎日の除排雪には苦勞されていることと存じます。

各公営住宅、同じ棟に入居されている方は協力をして、下記の事項に注意しながら除排雪されますよう、お願い申し上げます。

また、積雪状況が大がかりな場合は、村としても対応を検討いたします。

### ●公営住宅の皆様へのお願いです●

#### ○軒下には車を停めない！

突然の落雪により、車に損傷を招くことがあります。軒下に駐車は絶対しないで下さい。

#### ○ベランダや窓は定期的な除雪を！

ベランダや窓が隠れると、圧迫によりガラスが割れる危険性がありますので、定期的な除雪をして下さい。

### 問い合わせ

- ・泊村役場経済部建設水道課 TEL 75-2140

## 特定疾患治療研究事業の 対象疾患追加について

原因が不明で治療方法が確立していないなどとされる「いわゆる難病」のうち、医療費が助成される特定疾患治療研究事業の対象疾患が、新たに11疾患追加され、12月1日から申請を受け付けています。

下記の疾患で治療中の方は、主治医に御相談願います。なお、詳細については、保健所へお問い合わせ下さい。

### 追加疾患

- ①家族性高コレステロール血症（ホモ接合体）
- ②脊髄性筋萎縮症
- ③球脊髄性筋萎縮症
- ④慢性炎症性脱髄性多発性神経炎（CIDP）
- ⑤肥大型心筋症
- ⑥拘束型心筋症
- ⑦ミトコンドリア病
- ⑧リンパ脈管筋腫症（LAM）
- ⑨重症多形滲出性紅斑（急性期）
- ⑩黄色靱帯骨化症
- ⑪間脳下垂体機能障害

### 問い合わせ

- ・北海道後志保健福祉事務所岩内地域保健部（岩内保健所）健康推進課  
〒045-0022 岩内郡岩内町字清住252-1  
TEL 0135-62-1537

## 倶知安・岩内会場の社会保険 事務相談所が変わります

平成22年1月から

開設日時が変更になります

- 毎月2日間の開設から、1日間の開設になります。
- 相談時間が10時から16時までになります。

完全予約制になります

相談日の2日前までに予約の申込みをお願いします

予約制のメリット

- 予約制になることで待ち時間がなくなります。
- 予約時にあらかじめ相談内容を確認し、事前に資料をご用意いたしますので、すぐに相談に入れます。

### 平成22年1月～3月 社会保険事務相談所開設日程表

	倶知安会場	岩内会場
	後志労働福祉センター	岩内地方文化センター
22年1月	21日(木)	28日(木)
22年2月	18日(木)	25日(木)
22年3月	18日(木)	25日(木)

※相談時間の広報・案内は、10時～16時

### 小樽社会保険事務所 予約申込み電話番号 0134-65-5002

- ・基礎年金番号が必要になりますので、事前に年金手帳や年金証書のご用意をお願いします。
- ・お電話のおかけ間違いのないように、ご注意願います。
- ・予約の受付状況によっては、ご希望の時間にお受けできない場合があります。

#### 問い合わせ

- ・小樽社会保険事務所  
小樽市富岡1丁目9-6  
(平成22年1月より、日本年金機構小樽年金事務所  
所に変わります。)

## 申告期限のお知らせ

平成21年分の所得税・消費税及び地方消費税（個人事業者）の確定申告及び贈与税の申告の受付は、

所得税が **平成22年2月16日(火)から  
平成22年3月15日(月)まで**

贈与税が **平成22年2月1日(月)から  
平成22年3月15日(月)まで**

消費税及び地方消費税（個人事業者）が  
**平成22年3月31日(水)まで** です。

なお、倶知安税務署の閉庁日（土・日曜日・祝日等）は、確定申告等の受付は行ってありません。

申告書は郵送又は税務署の時間外文書収受箱（倶知安税務署の1階正面玄関右側）に投函することにより提出することができます。

## 平成21年度

## 「北方領土の日特別啓発期間」

平成22年1月21日<sup>㊦</sup>から平成22年2月20日<sup>㊧</sup>まで

我が国固有の領土である歯舞群島、色丹島、国後島及び択捉島からなる北方四島の早期返還の実現については、道民はもとより国民の長年にわたる悲願であります。

この北方領土問題解決のため、これまで日露両国間では精力的な外交交渉が続けられているが、北方領土返還要求運動が始まってから60年以上が経過した現在なお、領土返還への具体的な道筋は見えないままとなっています。

こうした国の外交交渉を積極的に後押しし、さらなる道民世論の結集を図るため、「日魯通好条約」署名の日（1855年2月7日／安政元年12月21日）を記念して、昭和56年1月6日の閣議において定められた2月7日の「北方領土の日」を中心に、北海道独自の取組として「北方領土の日特別啓発期間」を定め、道、市町村及び関係団体が連携し、一層強力に北方領土問題の啓発活動を展開しております。

## 預金保険制度のご案内

預金保険制度とは、金融機関が預金保険料を預金保険機構に支払い、万が一、金融機関が破たんした場合に、一定額の預金等を保護するための保険制度です。

預金取扱金融機関が破たんした場合は、「無利息・要求払い・決済サービスを提供できること」という3要件を備えた決済用預金が全額保護となるほか、その他の預金保険対象預金（利息のつく普通預金や定期預金など）は定額（1,000万円までの元本とその利息）保護されます。

制度概要については、金融庁及び預金保険機構ホームページに掲載されておりますのでご覧ください。また、預金保険制度にかかる資料をご希望の方は、北海道財務局までご連絡ください。

#### 問い合わせ

- ・金融庁ホームページ  
<http://www.fsa.go.jp/policy/payoff/index.html>
- ・預金保険機構ホームページ  
<http://www.dic.go.jp/>
- ・北海道財務局 総務部 財務広報相談官  
TEL 011-709-2311（内線4270、4247）  
E-mail kouhou@mof-hokkaido.go.jp

## 除雪の際には住宅に引き込みの 光ファイバーケーブルにご注意を

光ファイバーケーブルは、切断すると多額の修復費（60万円以上）がかかり、その修復費は切断した人の全額負担になります。

ケーブルは簡単には切断しませんが、機械による除雪などの屋外作業時は、光ファイバーケーブルに充分ご注意ください。

なお、家を改修される場合は、必ず役場までご連絡下さい。



#### 問い合わせ

- ・泊村役場 建設水道課 TEL 75-2140

## 年末年始の 休日当番医

診療時間  
9時～17時まで



12月31日(木) 北内科クリニック  
年末 ☎ 62-1457

22年1月1日(金) 東山クリニック  
年始 ☎ 62-7700

2日(土) 岩内協会病院  
年始 ☎ 62-1021

3日(日) 石山内科循環器科クリニック  
年始 ☎ 62-3223

10日(日) 千葉外科医院  
☎ 62-0981

11日(月) 発足診療所  
成人の日 ☎ 74-3009

17日(日) 前田診療所  
☎ 73-2211

24日(日) 岩内協会病院  
☎ 62-1021

31日(日) 万代クリニック  
☎ 61-2133

## 年末年始の 休日当番歯科医院

診療時間  
9時～12時まで



12月30日(水) 岡崎歯科医院  
☎ 62-0313

12月31日(木) みずの歯科医院  
☎ 62-2535

22年1月1日(金) にしざき歯科医院  
☎ 62-1155

2日(土) 泊歯科診療所  
☎ 75-2742

3日(日) 黒田歯科医院  
☎ 62-0326

## 1月の相談日程

札幌弁護士会しりべし弁護士相談センター

1月 6日(水) 13日(水) 20日(水) 27日(水)

- ・事前予約制
- ・予約受付 平日午前10時～午後4時
- ・岩内町高台84-3 ・☎ 0135-62-8373

## 不燃(粗大含む)ごみ受入停止日

受入停止日 1月25日(月)

### 問い合わせ先

・岩内地方衛生組合じん芥処理場 TEL 0135-62-6251

### 泊村アイスセンターとまリンク

12月30日(水) 9:00～15:00  
12月31日(木)～1月5日(火)まで休みます。

### デイサービスセンター

ホームヘルパーサービス  
12月31日(木)～1月5日(火)まで休みます。

### 老人入浴バス

12月25日(金)～1月5日(火)まで休みます。

### 通院バス

12月31日(木)～1月3日(日)まで休みます。

### 茅沼診療所

12月31日(木)～1月3日(日)まで休みます。

### 年末・年始のゴミ収集

12月30日(水)まで通常どおり収集します。

12月31日(木)～1月3日(日)まで休みます。

1月4日(月)からは通常どおり収集します。

※休み期間中のゴミは、ご家庭に保管し、ごみステーション等には出さないで下さい。

◆問い合わせ先 住民福祉課 ☎75-2134

※リサイクルセンターは12月31日より1月4日まで受入れを休みます。

### 年末年始の業務

■役場窓口業務など

年末から年始にかけての役場の業務は左記のとおりです。

なお休み中の急を要する用件については、日直にご連絡ください。

☎75-2021

12月31日(木)～  
1月5日(火)  
まで休みます。

### 泊消防団出初式

1月7日(木)午前10時から  
泊村公民館

### 泊村成人式

1月10日(日)午後1時から  
泊村公民館

### 泊村立歯科診療所

12月29日(火)～1月5日(火)まで休みます。

※1月2日(土)は救急当番医

# 戸籍の窓

11月20日～12月15日

いつまでもお幸せに

## 【婚姻】

(滝の潤) 二瓶 智幸さん 滝の潤  
本間 梢さん 滝の潤

## 【死亡】

(白) 別 桃内 久子さん 88才  
11月20日死亡  
(泊) 黒坂 昇吉さん 79才  
11月21日死亡

よろしくおねがいします

## 【転入】

(滝の潤) 本間 梢さん 真狩村  
(泊) 町平 征司さん 小樽市

## 【転出】

共和町 1人 札幌市 1人



## 人のらごき

世帯	974戸	前月比	-3戸
人口	1,974人		-5人
男	914人		-3人
女	1,060人		-2人

### 地区別の世帯と人口

	世帯	人口	前月比
泊地区	319戸	699人	-3
盃地区	186戸	381人	+1
茅沼地区	191戸	399人	-1
老人ホーム	103戸	103人	±0
渋井地区	94戸	215人	-2
堀株地区	81戸	177人	±0
計	974戸	1,974人	-5

[21.11.30 現在 住民基本台帳]

## とまり木文芸

### 俳句・川柳

冬の朝二羽の鳥が たずね来る 泊海山  
またほしい 補正予算で 給付金 泊海山

### 短歌 (362)

吉田智恵子  
また一つ 齢かさねる年あけに 六十路の坂も 平穩無事と  
赤坂明希子  
新しき年に使うか布出して 布巾雑巾縫えるはたのし  
小林ヒロ子  
ともすれば 萎えゆく心引締めん 今年是我の千支の虎なり  
小林 諒子  
平成の時代燃々と輝やけり 蝦夷富士あほぎ 感謝の生活

### 近江谷乃婦

祖父や父が好みて食みし 行者にんにくこの 齢になり旨さ知りたり  
立花 孝子

### 沙羅

発表会衣装をつけて 立ちつくすそれでも みんな名優ばかりや  
ハードルを一つ越えては 又一つ 続く我が人生 今年こそはと  
のぞみ

### 芳扇

師走月こよみの中の スケジュール 出来るかなあと 十日過ぎゆく  
郵政の簡保の旅は 沖縄へ中城に立ち支那海臨む  
さと女

### 乃婦

時経りて 年令八十路 すでに 越ゆ授かりし 今を如何に 生きなむ  
香り濃き 沢芹茹でて われし ばし 田舎の家や はらから 思う  
無名女

窓辺の 小さな花も 背のびする 冬のかぼそき 陽光へ むけて

# 交通安全

全年 展開  
デイ・ライト (昼間点灯) 運動実施中!

再生紙を使用しています